

## 第3学年2組 体育科学習指導案

### 1 単元名 幅跳び

### 2 運動の特性（機能的特性）

幅跳びは、短い助走から強く踏み切って遠くへ跳んだり、友達と競争したりすることが楽しい運動である。

### 3 児童の実態

～省略～

### 4 実態の考察

#### （1）運動の楽しさの体験状況について

本学級の児童は、幅跳びにつながる1、2年時に学習した跳の運動遊びに対して、9割以上の児童が「好き」「どちらかという好き」と回答している。その理由として「ジャンプが好きだから」「楽しいから」という回答が挙げられていることや、跳の運動遊びの学習で楽しいときは「ジャンプするとき」と半数近くの児童が回答していることから、1、2年時の学習で、多くの児童が跳ぶこと自体の楽しさを感じ、運動の特性に十分に親しんできたことがわかる。また、「友達と一緒にやる時」「うまくできたとき」に楽しさを感じていることから、友達とのかかわりや成功体験が楽しさを感じることに繋がっていることがわかる。9割以上の児童が、幅跳びの学習を「楽しみ」と回答していることから、幅跳びの学習に対して、前向きに考えている児童が多い。一方で、3名の児童が「転びそうだから」「苦手だから」「つまらないから」という理由で、跳の運動遊びに対して「どちらかという嫌い」と回答している。また、跳の運動遊びの学習で楽しくないときは「失敗するとき」という回答が挙げられている。関連して、幅跳びの学習で心配なこととして「怪我」が多く挙げられている。このことから、失敗や怪我への恐怖心が楽しくないと感じる要因につながる事がわかる。

#### （2）運動の楽しさを求める学び方の習得状況について

本学級の児童は、2年時には毎時間がんばりたいことを決めて、運動遊びに取り組んできた。そのため、多くの児童はめあてをもち、自分に適した場を選択することができていた。しかし、めあてをもつことはできても、内容が抽象的であったり、めあてへの意識が薄れてしまったりすることが多くあった。また、今年度3学年となり、低学年から中学年になって間もない時期であるため、自分の課題を見付け、その課題の解決のための活動を選んだり、工夫したりすることにはまだ慣れておらず、少しずつ自分の課題に目を向けられるように導いている段階である。また、7割の児童が、困ったときやうまくいかないときには、「友達に聞く」「友達の動きを見る」と回答していることから、友達とのかかわり合いながら課題を解決しようとする意識をもっていることがわかる。

見付けた友達のよい動きを伝えることが「あまりできない」「できない」と回答している児童が4割近く、気付いたや考えたことを伝えることが「あまりできない」「できない」と回答している児童が3割近くいることから、見付けた友達のよい動きや変化、考えたことを友達に伝えることに苦手意識をもっている児童がいることがわかる。

9割以上の児童が、きまりや順番を守って学習できると回答しているが、3名の児童が「あまりできない」と回答している。クラス替えを行っているため、新たな人間関係を築いている時期ではあるが、休み時間には男女分け隔てなく遊ぶ姿や、グループでの活動では比較的仲良く活動する姿が見られる。しかし、中には集団行動が苦手な児童や自己主張が強く友達と衝突する児童もいる。そのた

め、きまりや順番を守れず、喧嘩になることで意欲が低下してしまう児童もいることがわかる。また、体育の学習で「誰とでも活動できる」と回答した児童は21名いるが、「仲の良い友達とならできる」という児童が13名いる。普段の様子からも、仲の良い友達と一緒に活動したがる児童が多くいる。

### (3) 運動の楽しさを味わうための技能の習得状況について

本学級の児童は、跳の運動遊びで幅跳び遊びを経験してきているため、ほとんどの児童が、助走を付けて片足でしっかり地面を蹴って踏み切り、前方に跳ぶことができていた。しかし、助走距離が長すぎて失速したり、踏み切るタイミングが合わなかったりする児童がいた。1名の児童は、助走なしで跳んだ。また、膝を柔らかく曲げて、両足で着地できていた児童は約3割しかいなかった。片足で走り抜けるように着地したり、前に転んでしまったりする児童が多かった。

## 5 研究の視点と学習の手立て

### (1) 市教研体育部の研究主題

生涯にわたって健康を保持増進し、運動に親しむ子どもを育てる体育学習

### (2) 研究の視点と手立て

#### 視点1 課題を見付け解決できる学習過程と指導内容の明確化

<手立て>

#### ○ 児童の実態に即した学習過程の工夫

3年生の初期の段階では、低学年の「遊び」から中学年の「運動」にどのように移行していくかということが大切であると考え。そのため、本単元では、低学年と中学年の接続を意識した学習過程を設定する。

#### 低学年の遊びを生かしたオリエンテーション

昨年度の跳の運動遊びでは、ジャングルの冒険をテーマに設定し、児童は、遊びの中から前方や上方に跳んだり、片足や両足で連続して跳んだりすることを身に付けている。そこで、オリエンテーション時には、2年生の跳の運動遊びで行った場（川とびやケンステップを活用した場、ゴム紐の場など）を活用することで今までの学習を想起したり、「跳の運動遊び」のポイントは「幅跳び」でどのように活用することができるのかを考えたりすることができるようにしていきたい。そうすることで、児童は今まで行っていた「遊び」が「運動」につながっていたことを理解し、苦手意識をもつことなく、より幅跳びを楽しめるようになると考えた。また、ジャングルの冒険の世界観を大切にした学習を展開し、児童が意欲的に学習できるようにしていきたいと考える。

#### 幅跳びに必要な技能を身に付ける単元前半

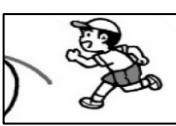
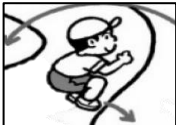
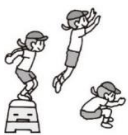
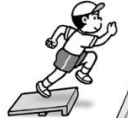
単元前半では、幅跳びに必要な技能を確認しながら身に付けられるようにしていく。特に、本学級の多くの児童は安全な両足着地に課題があるため、跳の運動遊びで経験した動きをもとに、安全な両足着地の仕方を学ぶことから始めていく。安全な着地の仕方を身に付けることで、遠くに跳んでも怪我することなく着地できるようにしていきたい。その後、短い助走から力強く踏み切って跳ぶ活動に移行していき、より遠くに跳べるようにしていきたい。このように、単元前半に幅跳びの運動の行い方をじっくり学ぶことで、運動を初めて行う3

年生でも、自己の課題を把握し、解決の方法を選んだり工夫したりすることができるようにしていきたい。

**遠くに跳んだり、競争を楽しんだりする単元後半**

単元前半に学んだ動きや技能のポイント、課題解決の方法を活かして学習を進める。児童は自分の課題を見付け、解決の方法を選んだり工夫したりすることで、より遠くに跳ぶことができるようになると思う。また、遠くに跳べるようになると、友達と競争してみたいという児童も出てくるだろう。そのような児童の思いも大切に取り扱い、自己の跳べる距離を伸ばしたり、友達と競争したりすることで幅跳びの楽しさを味わえるようにしていく。

○ 指導内容の明確化

| 身に付けさせたい<br>知識及び技能                              | つながる運動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 主運動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>【1時間目】</b><br>・2年時に経験した動きを想起する。              | ○川とび<br>                                                                                                                                                                                                                                                | ○2年時の学習を想起する場<br>○試しの幅跳び                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <b>【2時間目】</b><br>・膝を柔らかく曲げて、両足で着地する。            |  <p>助走をつけることにつながる</p>  <p>強く踏み切る感覚づくりにつながる。</p>  <p>膝を柔らかく曲げて、両足で着地する動きにつながる</p> | ○高いところから跳ぶ場<br> <p>膝を柔らかく曲げて、両足で着地する</p> ○ゴムの場<br> <p>上方に向かって跳ぶ</p> ○幅跳び（得点化）<br>★ボーナスポイント：両足着地<br>意識付け                                                                                       |
| <b>【3時間目】</b><br>・5～7歩程度の助走から踏切り足を決めて前方に強く踏み切る。 | ○グリコじゃんけん<br> <p>やった！1点。</p> <p>着地は「ん」。</p> <p>じゃんけんポン！</p>                                                                                                                                                                                            | ○ケンステップの場<br> <p>5～7歩程度の助走</p> ○踏切り板の場<br> <p>強く踏み切る</p> ○踏切り足バンドの活用<br> <p>決めた足での踏切りの可視化</p> ○駆け上って跳ぶ場 |

|                                                                                                                               |                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                                               | <p>↓</p> <p>・最後の着地は「ん」の字で<br/>両足着地</p>  <p>膝を柔らかく<br/>曲げて、両足で<br/>着地する動き<br/>につながる。</p> |  <p>強く踏み切る</p> <p>意識付け</p> <p>○幅跳び（得点化）</p> <p>★ボーナスポイント：踏切り足</p>                                                                 |
| <p>【4～6時間目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5～7歩程度の助走から踏切り足を決めて前方に強く踏み切る。</li> <li>・膝を柔らかく曲げて、両足で着地する。</li> </ul> | <p>・大股走り</p>  <p>強く踏み切る<br/>感覚づくり<br/>につながる。</p>                                        | <p>○課題に合った場の選択</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高いところから跳ぶ場</li> <li>・ゴムの場</li> <li>・ケンステップの場</li> <li>・踏切り板の場</li> <li>・駆け上って跳ぶ場</li> </ul> <p>○幅跳び（得点化）</p> <p>★ボーナスポイント：<br/>踏切り足＋両足着地</p> <p>意識付け</p> |

### 視点3 子どもの意欲を高め、主体的に学習に取り組むための評価の工夫

<手立て>

#### ○ 目標や成長の明確化

着地位置に距離に応じて色分けされたケンステップを置くことで、児童が自分の成長を実感しやすいようにする。また、ケンステップを島に見立てることで、「○色島までいきたい」、「○色島までいけた」と2年生からの冒険を想起し、意欲的に活動に取り組めると考える。また、単元最初の着地位置からの伸びを得点化し、自己の目標を設定したり、成長を実感したりすることができるようにする。さらに、その時間に身に付けさせたい知識及び技能を児童が意識できるよう、各時間のポイントをボーナスポイントとして設定する。跳べた距離の伸びを得点化するだけでなく、動きや技能を得点化することで動きの高まりも感じることができると考える。このように、自己の成長が明確にわかるようにすることで、次の学習への意欲向上を図ることができると考える。

#### 【記録の伸びの得点化】

オリエンテーション時の着地位置を1点とし、それより遠くなるにつれて1点ずつ増やして得点を設定する。2時間目以降、この得点を使う。

#### 【動きや技能の得点化】

ボーナスポイントの設定（2点）

2時間目：両足着地

3時間目：決めた足での踏切り

4～6時間：両足着地

決めた足での踏切り } 各2点

(例) 最初の着地が黄色い島（ケンステップ）であった場合



2 時間目に緑色島に両足で着地できた場合、2 点（伸び得点） + 2 点（動き得点） = 4 点獲得となる。

## ○ 学習カードの活用

毎時間の重点指導事項と学習カードの自己評価項目の内容が一致するように作成をすることで、振り返りの際に教師側の見取りだけでなく、児童側の自己評価も見取ることができるようにする。その評価をもとに、次時以降の指導に活かすようにし、指導と評価の一体化を図る。また、次時の重点事項が児童もわかることで、見通しをもって学習に取り組めるようにしていく。

<学習の流れ>

- リンク
- ① **本時の重点指導事項**を授業はじめに確認し、意識付ける。
  - ② 身に付けられるように手立てを講じる。
  - ③ 動きや技能の共有化を図る。
  - ④ **学習カード**を用いて振り返るようにする。
  - ⑤ 次時の課題を発見し、めあてを立てるようにする。

このように、計画的に指導と評価を行うことで、児童が見通しをもって意欲的に取り組めるようにしていく。

## 6 単元の目標

- (1) 幅跳びの行い方を知るとともに、短い助走から強く踏み切って遠くへ跳ぶことができるようにする。（知識及び技能）
- (2) 自己の能力に適した課題を見付け、動きを身に付けるための活動や競争の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）
- (3) 幅跳びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動したり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。（学びに向かう力、人間性等）

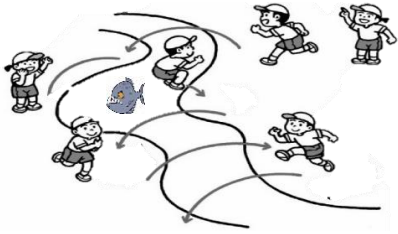
## 7 評価規準

| 知識・技能                                                                                                     | 思考・判断・表現                                                                  | 主体的に学習に取り組む態度                                                                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 幅跳びの行い方について言ったり書いたりしている。<br>② 5～7 歩程度の助走から踏み切り足を決めて前方に強く踏み切り、遠くへ跳ぶことができる。<br>③ 膝を柔らかく曲げて、両足で着地することができる。 | ① 自分の課題を見付け、その課題の解決のための活動を選んでいる。<br>② 友達のよい動きや変化を見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。 | ① 幅跳びに進んで取り組もうとしている。<br>② きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合おうとしている。<br>③ 準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。<br>④ 友達の考えを認めようとしている。<br>⑤ 場や用具の安全を確かめている。 |

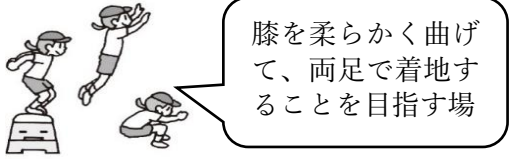
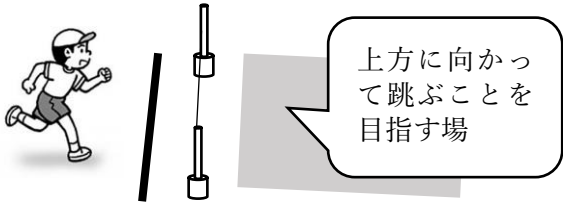
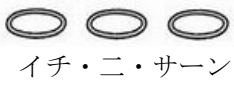
# 8 指導と評価の計画

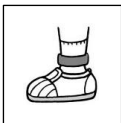
|              | 1                                                            | 2                           | 3             | 4                  | 5（本時）         | 6          |
|--------------|--------------------------------------------------------------|-----------------------------|---------------|--------------------|---------------|------------|
| 学習のねらい       | ねらいを知り、学習過程への見通しをもつ。                                         | 幅跳びの技能のポイントや、課題解決の方法を知る。    |               | 自分の課題に応じて、活動の場を選ぶ。 |               |            |
| 0<br>↓<br>45 | オリエンテーション<br>・学習過程や約束の確認<br>・準備や片付けの仕方<br>・安全面について<br>・試しの運動 | 準備運動、主運動につながる運動             |               |                    |               |            |
|              |                                                              | <div>いろいろな場で、幅跳びを楽しむ。</div> |               |                    |               |            |
| 知・技          |                                                              | ③<br>(観察・ICT)               | ②<br>(観察・ICT) |                    | ②<br>(観察・カード) | ①<br>(カード) |
| 思・判・表        |                                                              |                             |               | ①<br>(カード)         | ①<br>(カード)    | ②<br>(カード) |
| 態度           | ③⑤<br>(観察・カード)                                               | ①<br>(観察・カード)               | ②<br>(観察・カード) | ④<br>(観察・カード)      |               |            |

9 指導計画

|     | 学習内容と活動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 教師の指導・支援○ 評価◇                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| はじめ | <p>【オリエンテーション】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学習のねらいや進め方を知り、単元の見通しをもつ。</li> <li>2 学習のきまりやマナー、安全について理解する。</li> <li>3 準備や片付けの方法を知り、場づくりをする。</li> <li>4 主運動につながる運動をする。</li> <li>5 試しの運動をする。</li> </ol>                                                                                                          | <p>○学習の見通しがもてるように、資料を視覚的に分かりやすく提示したり、実際に見せたりながら指導する。</p> <p>○準備や片付けを円滑に行えるように、場を掲示し、役割分担する。</p> <p>○安全に運動できるように、声を掛けたり、安全確認ができていない児童を称賛したりする。</p> <p>◇準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 【態度③】</p> <p>◇場や用具の安全を確かめている。 【態度⑤】</p>                                                                                                                                                          |
| なか① | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学習の場づくりをする。</li> <li>2 準備運動をする。<br/>○ストレッチ</li> <li>3 幅跳びにつながる運動をする。<br/>○川とび</li> </ol>  <p>○グリコじゃんけん（ジャングルバージョン）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>4 学習のねらいや本時のめあてを確認する。</li> </ol> | <p>○グループで協力して準備できるように声を掛けたり、協力できている児童を称賛したりする。</p> <p>○怪我を予防するために、よく使う部位を中心にストレッチするように指導する。</p> <p>○決めた足で踏み切ることができるように、跳びやすい足を見付け、その足で踏み切るよう声を掛ける。</p> <p>○両足着地を意識できるように、最後の着地は両足で着地するように指導する。</p> <p>○膝を柔らかく曲げた安全な両足着地の感覚がつかめるように、「ん」の字を意識するよう指導する。</p> <p>○両足で着地することができない児童には、教師と一緒にやったり、着地位置にケンステップを置いたりして、両足で着地する意識付けを行うようにする。</p> <p>○体をほぐせるように、全身を使ってじゃんけんをするようにする。</p> |

いろいろな場で、幅跳びを楽しむ。

|                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                  | <p>(予想されるめあての例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ん」の字で安全に着地する。</li> <li>・助走をつけて遠くまで跳ぶ。</li> <li>・ダンと強く踏み切って遠くへ跳ぶ。</li> <li>・決めた足で踏み切って跳ぶ。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                 | <p>○活動が学習のねらいから外れないように学習のねらいを全体で確認してから活動を開始するようにする。</p> <p>○自分のめあてを明確にもって活動できるように、めあてを発表する機会を設ける。</p>                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 2<br>時<br>間<br>目 | <p>5 ねらいに沿って活動する。</p> <p>○高いところから跳ぶ場</p>  <p>○ゴムの場</p>  <p>6 幅跳びを行う</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>★ボーナスポイント★</p> <p>「両足で着地すること」ができたなら<br/>+ 2 ポイント</p> </div> | <p>○進んで運動できるように、繰り返し粘り強く取り組んでいる児童を称賛する。</p> <p>○膝を柔らかく曲げて、両足で着地する動きを共有できるように、できている児童を紹介する。</p> <p>○上方に跳ぶ意識をもてるように、ゴムを張った場を設ける。</p> <p>○友達からの的確なアドバイスがもらえるように、友達に見てもらおうポイントを伝えるように指導する。</p> <p>○友達にアドバイスすることが苦手な児童には、掲示物を参考にするよう促す。</p> <p>○両足で着地することを意識できるように、ボーナスポイントを設定する。</p> <p>◇膝を柔らかく曲げて、両足で着地することができる。 【知・技③】</p> <p>◇幅跳びに進んで取り組もうとしている。 【態度①】</p> |
| 3<br>時<br>間<br>目 | <p>5 ねらいに沿って活動する。</p> <p>○ケンステップの場</p>  <p>イチ・二・サーン</p> <p>○踏切り板の場</p>  <p>○駆け上りジャンプ</p>                                                                                                                   | <p>○決めた足で踏み切ることができない児童に対しては、3歩助走から始め、ケンステップを用いて、決めた足で踏み切ることができるようにする。</p> <p>○強く踏み切ることができるように、踏切り位置に踏切り板を設置したり、跳び箱を用いて駆け上る場を設けたりする。</p> <p>○きまりを守り、誰とでも仲よく活動するように、できている児童を称賛したり、声を掛けた</p>                                                                                                                                                                 |

|                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                      | <div data-bbox="277 210 533 327">  </div> <div data-bbox="555 210 805 327"> <p>強く踏み切ることを目指す場</p> </div> <p>6 幅跳びを行う</p> <div data-bbox="220 468 766 629"> <p>★ボーナスポイント★<br/>「決めた足で踏み切ること」ができたなら<br/>+ 2 ポイント</p> </div> <div data-bbox="240 725 553 806"> <p>☆踏切り足バンドの活用<br/>※授業開始時から着用</p> </div> <div data-bbox="592 698 713 819">  </div> | <p>りする。</p> <p>○決めた足で強く踏み切ることを意識できるように、ボーナスポイントを設定する。</p> <p>○踏切り足が視覚的に分かりやすいように、踏切り足に目印を付けるようにする。</p> <p>○5～7歩程度の助走となるように、「1・2・（1・2・）イチ・二・サーン」などの掛け声を掛けると良いことを指導する。</p> <p>○踏切り足が定まらない児童には、3～5歩など短い助走による幅跳びを行うように促す。</p> <p>◇5～7歩程度の助走から踏切り足を決めて前方に強く踏み切り、遠くへ跳ぶことができる。</p> <p style="text-align: right;">【知・技②】</p> <p>◇きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合おうとしている。</p> <p style="text-align: right;">【態度②】</p> |
|                      | <p>7 学習を振り返る。</p> <p>○学習カードを記入する。</p> <p>○気付いたことや考えたことを発表する。<br/>（予想される気付き、考えの例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両足で着地するときに膝を曲げると転ばずに着地できました。</li> <li>・決めた足で踏み切ったら強く踏み切れるようになりました。</li> </ul> <p>○見つけた友達のよい動きを発表する。</p> <p>○次回のめあてを学習カードに記入する。</p> <p>8 整理運動、後片付けをする。</p>                                                                                                                                                                                                                         | <p>○次時への見通しと意欲をもてるように、学習カードを活用して学習を振り返り、次回のめあてを考えるようにする。</p> <p>○動きのポイントを共通理解できるように、気付いたことや考えたこと、友達のよい動きを発表する場を設ける。</p> <p>○友達と協力して安全に片づけができるように声を掛ける。</p>                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>な<br/>か<br/>②</p> | <p>1 学習の場づくりをする。</p> <p>2 準備運動をする。</p> <p>○ストレッチ</p> <p>3 幅跳びにつながる運動をする。</p> <p>○川とび</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <p>○グループで協力して準備できるように声を掛けたり、協力できている児童を称賛したりする。</p> <p>○怪我を予防するために、よく使う部位を中心にストレッチするように指導する。</p> <p>○動きのポイントを意識できるように、声を掛け</p>                                                                                                                                                                                                                                                                   |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○グリコじゃんけん（ジャングルバージョン）</p> <p>4 学習のねらいや本時のめあてを確認する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <p>る。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>いろいろな場で幅跳びを楽しむ。</p> </div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p>（予想されるめあての例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7 歩の助走で勢いをつけてもっと遠くに跳べるようになる。</li> <li>・ バーンと強く踏み切って遠くへ跳ぶ。</li> <li>・ 決めた足で踏み切って高得点をねらう。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                | <p>○活動が学習のねらいから外れないように学習のねらいを全体で確認してから活動を開始するようにする。</p> <p>○自分のめあてを明確にもって活動できるように、めあてを発表する機会を設ける。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>5 自分に合った場で活動する。</p> <p><span style="border: 1px solid black;">短い助走</span>・<span style="border: 1px solid black;">踏切り足</span>→・ケンステップ</p> <p><span style="border: 1px solid black;">強い踏切り</span>→・踏切り板</p> <p style="padding-left: 40px;">・駆け上りジャンプ</p> <p>（<span style="border: 1px solid black;">上方に跳ぶ</span>→・ゴム）</p> <p><span style="border: 1px solid black;">着地</span>→・高いところから跳ぶ</p> <p>6 幅跳びを行う。</p> | <p>○自分に合った場を選ぶことができない児童には、友達にアドバイスをもらったり、掲示物を参考にしたりするよう声を掛ける。</p> <p>○苦手な児童には、動きのポイントを意識できるように、声を掛けたり、一緒にやったりする。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>★ボーナスポイント★</p> <p>「両足で着地すること」ができたなら<br/>+ 2 ポイント</p> <p>「決めた足で踏み切ること」ができたなら<br/>+ 2 ポイント</p> </div>                                                                                                                                                                                                                                                   | <p>○児童が自分の課題や上達を把握できるように、ギガタブを活用して、自分の動きを確認するよう促す。</p> <p>○動きのポイントが分からない児童には、技能のポイントが整理された掲示物を参考にするよう声を掛ける。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>【競争の仕方の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 跳んだ距離を競う</li> <li>・ 色（距離）別に得点化して競う（ボーナス得点の加算の有無）</li> <li>・ 自己記録からの伸びを得点化して競う（ボーナス得点の加算の有無）</li> </ul> </div>                                                                                                                                         | <p>○「決めた足で強く踏み切ること」や「膝を柔らかく曲げて、両足で着地すること」を意識できるように、ボーナスポイントを設定する。</p> <p>○幅跳びの楽しみ方が広がるように、自然発生的な競争を認め、必要に応じて競争の仕方を提示する。</p> <p>◇ 5 ～ 7 歩程度の助走から踏切り足を決めて前方に強く踏み切り、遠くへ跳ぶことができる。</p> <p style="text-align: right;">【知・技②】</p> <p>◇ 膝を柔らかく曲げて、両足で着地することができる。</p> <p style="text-align: right;">【知・技③】</p> <p>◇ 自分の課題を見付け、その課題の解決のための活動を選んでいる。</p> <p style="text-align: right;">【思・判・表①】</p> |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | <p>7 学習を振り返る。</p> <p>○学習カードを記入する。</p> <p>○気付いたことや考えたことを発表する。</p> <p>○見つけた友達のよい動きを発表する。<br/>(予想されるよい動きの例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Bさんが、バーンと強く踏み切って遠くへ跳べていました。</li> <li>・Cさんがフワッと着地できるようになっていました。</li> </ul> <p>○次回のめあてを記入する。</p>                                                              | <p>○動きのポイントを共通理解できるように、気付いたことや考えたこと、友達のよい動きを発表する場を設ける。</p> <p>○共感的な態度で友達の発表を聞いている児童を称賛する。</p> <p>◇幅跳びの行い方について言ったり書いたりしている。 <b>【知・技①】</b></p> <p>◇友達のよい動きや変化を見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。 <b>【思・判・表②】</b></p> <p>◇友達の考えを認めようとしている。 <b>【態度④】</b></p> |
|     | 10 整理運動、後片付けをする。                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                |
| まとめ | <p>○ 学習のまとめを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幅跳びの行い方を知るとともに、5～7歩程度の助走から踏切り足を決めて前方に強く踏み切り、遠くへ跳んだり、膝を柔らかく曲げて、両足で着地したりすることができたか。</li> <li>・自己の能力に適した課題を見付け、動きを身に付けるための活動や競争の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができたか。</li> <li>・幅跳びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動したり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができたか。</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                                                |

## 10 資料等

### 本時の場

